



学校教育目標

きらり輝く たくましい子

- ・㊦かよく - 思いやりのある子
- ・㊧しこく - 意欲的に学ぶ子
- ・㊨びのびと - 最後まで頑張る子

「子どもたちの成長のために」

校長 木村 純

10月27、28日に実施いたしました学校公開日（なかのフェスタ）には、多数の保護者の皆様、お世話になっております地域の皆様の御来校をいただきまして厚く御礼申し上げます。各学年の子どもたちは、皆様に見ていただき、感謝の気持ちを込めてという目的をもってそれぞれに練習して参りました。何事にも目的意識を持って、積み重ねが大切であるということを実感しております。そして、皆様の温かい拍手と応援が子どもたちに、達成感とこれからの成長への大きな力を与えていただきました。ありがとうございました。

このように様々な学校行事は、先ほど述べましたとおり、子どもたちを大きく成長させてくれます。そして、子どもの成長には「子どもの内部を見つめる努力」が必要だと感じます。先日読んだ本の中に、生物の持つ様々な能力や行動を通して、私たちにものの見方や生き方を教えているという一説がありました。紹介します。

「水生昆虫ミズスマシには、空気中と水中の両方に天敵がいる。すなわち、空気中からは鳥に襲われ、水中では魚や他の水生昆虫に狙われる。その両方とも正しく捉えて、生きられる距離を見定めて逃げ出さなければならない。そこでそれらを正しい映像で捉える必要がある。ミズスマシは、空気中で見えるための上側の2つの目と、水中を見る下側の2つの目、合わせて4つの目を持っている。」このように2つの異なる世界を見る目を持つことが人間社会にもあらゆる場面に求められています。このことは教育現場でも大いに参考になるのではないのでしょうか。

子どもたちを見つめるとき、ともすると子どもの外側に現れる言動にばかりいきがちですがこのことは子どもの実態をすべて表しているとは限りません。最も大切なことは子どもの内側です。すなわち、心を把握することは難しく何より大切な事です。人は悲しい時だけ涙を流しているわけではありません。明るく振る舞っていても、本当は涙を我慢している時もあります。そんな子どもたちを私たち大人が「2つの世界を見る目」で見守り、子どもたちの実態を正しく捉えて導いていくことが、今求められています。

さて、これからが秋本番。様々な行事、そして日々の学習に子どもたちに目的を持たせながら、導いてまいります。ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

11月の生活目標

人の集まる所では静かにし、話をしっかり聞こう

遠足・社会科見学

【1年生遠足】 10月6日（金）

茨城県自然博物館へ行ってきました。みんなで大きなランポリンで遊び、とても楽しそうでした。



【2年生遠足】 雨で延期になっていますが、11月8日（水）に東武動物公園へ出かける予定です。

【3年生社会科見学】 10月18日（水）

春日部市豊野環境衛生センター、桃屋春日部工場、内牧の折原果樹園（梨園）を見学してきました。自分たちが住む春日部市についてたいへん勉強になった1日でした。



【4年生社会科見学】 10月11日（水）

利根大堰、さきたま古墳・史跡の博物館、羽生市にある中島紺屋での藍染め体験に行きました。利根大堰の魚道では折しもサケの遡上が見られ、楽しい見学だったようです。



4年生は10月20日（金）にも「プラネタリウム見学」に越谷市立児童館コスモスへ行きました。社会科や理科の体験的な学習がしっかりできました。

なかのフェスタ練習風景



放課後子供教室



第2回放課後子供教室を10月2日（月）に開催しました。今回は初めての試みとして「エコクラフト教室」を実施し、11名の児童が参加しました。生け花やグランドゴルフと併せて、3つの教室に地域の方々のアイデアと協力をいただき、子供達は放課後のひとときを楽しみました。



よろしくお願いします

10月からなかよし学級支援助手・山口綾子先生の後任として工藤由紀（くどう ゆき）先生が、また、学校図書館支援員・渡辺文子さんの後任として濱谷有美（はまたに ゆみ）さんが着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

